

お客様の印刷機械が故障・事故なく安定稼働できるように
印刷機械のワンポイントメンテナンス

第10回 水害による被災時のワンポイントマニュアル

地震や水害等の広範囲な災害が発生した場合には、通信が集中するため、弊社(KOMORI)側からの電話連絡が非常に困難となります。お客様側からもご連絡をお願い申し上げます。

I. 「KOMORI緊急災害対策本部」からのお願い

広域災害が発生した場合には、交通網の被災や交通規制等により、サービスマンの到着が遅れる場合があります。サービスマンの到着までは下記の手順に従って復旧対策を行い、サービスマンの到着後は指示に従ってください。電源はサービスマンの確認と立会いの上で投入してください。

II. 水害の恐れがせまった場合

- 1) 床に直に置かれている、ポンプ類・配電盤等をステップ等の上に移動してください。
- 2) フィーダーやデリバリーの紙積み台等を床面からできるだけ上にしてください。
- 3) 電源を落してください。

III. 水害により、機械が冠水してしまった場合

- 1) 被害状況の把握ができるまで工場と機械本体の電源を落してください。… 漏電、感電の恐れがあります。
- 2) 機械の冠水状況を把握してください。(床面から△△cm位まで水に浸かったという様に具体的な数値で)
- 3) 被害の状況をKOMORIサービスの下記、電話番号に連絡しサービスマンの指示を受けてください。
- 4) 水が引いたら、極力早めに冠水した所の汚泥を清水(水道水)で洗い流してください。(冠水部のみ)
(汚泥が乾燥すると後の復旧に大変時間を要します。… 特にゴムローラ関係)
- 5) ゴムローラ関係は取外し清水で洗って乾燥させ、ベアリングは交換してください。
- 6) 冠水したギヤボックス等のオイルを抜いてください。(オイルが飛散、拡散しない様に充分注意してください。)
(大きなギヤボックスやユニットのオイルタンク等は、浸水により全体の量が増えている場合がありますので直接フタを外すことは危険です。ドレーンポートから油抜きを行ってください。)
- 7) 冠水した配線ダクト・端子箱のフタを開けて、水を抜き乾燥させてください。
- 8) カバーやフタは極力大きく開いて乾燥させてください。
- 9) 乾燥は屋内電源(AC100V)の復旧後、扇風機やヘアードライヤーによる乾燥が適当と思われますが、長時間の連続使用は非常に危険ですので注意してください。
- 10) 電気部品の対応はサービスマンの指示に従ってください。電気部品は目視での良否判断は、困難かつ、非常に危険です。取り敢えず乾燥させ絶縁チェックを行った上で、機能チェックを行ってください。
- 11) 基本的に冠水したベアリング関係は、フラッシングを完全に行うか、交換が望まれます。
- 12) 給油関係は、フラッシングを完全に行った後、新しいオイルと交換してください。

水害後の状況



※ 詳細または不明な点がございましたら、下記まで問い合わせ願います。

株式会社小森コーポレーション

テクノサービスセンター

東京:本社 03-3624-7166
部品販売 03-3624-7154
埼玉 048-480-7166
相模 046-278-2355~8

東日本サービス

北海道 011-641-1505
東北 022-282-8871
北陸 076-422-5588
名古屋 052-363-5011

西日本サービス

大阪 06-6939-0141
九州 092-433-7615
中国 082-295-9100
四国 087-864-3902